



「母の歌」 くるくる回る糸車 背中で聞いた子守歌
 南無阿弥陀仏のお念仏は母の子守歌 ぶんぶんと糸車
 しづかにまぶたを閉じると 遠くから南無阿弥陀仏とお念仏
 母の子守歌は南無阿弥陀仏と呼んでいる

古一いつ子さん作 押し花

田端 明さん



善親友 「ここで療養されている方々はハンセン病で療養されておられると思われる方?」「正解はXです」、10月8日~9日岡山県にある長島愛生園に教区研修会で訪れました。今回で3回目の訪問となりました。

篠の葉絡まる歴史館でハンセン病についてのお話を聞き長年差別と偏見、不当な扱いを強いられてきた方々の歴史と現状を学ばせて頂きました。当時環境の劣悪な中

発病され、隔離政策によって家族や故郷と別れ、想像を絶する困苦な生活。戦後、治療薬が出来、病気が回復しても後遺症により病気であったことが判ると家族や周りに差別が及ぶことを怖れ退所されなかつた、名前までも捨ていのち終わってもここに留まられた方々、納骨堂でのおつとめをさせていただき、夕刻は、施設内にある真宗会館で回復者の方々と交流会、お話と夕食懇親の場を持たせていただきました。翌日は邑久光明園での見学と研修を受けました。両園とも入所の方々の高齢化が進み、直にお話を聞くことのできる時間も迫っています。



本山念佛奉仕団 35回参加表彰



10月11日、12日鈴鹿組
本山念佛奉仕団に参加、
35回表彰を受けられた
落合登代子さんにお話
を伺いました。

「皆さんのおかげで、毎年
参加させていただき、表彰
まで頂戴しました。

又、組佛教壮年会でも奉仕団が結成、私も3回ほど加わりましたので35回に到達しました。本当にありがとうございます。私は、前住さんにお育ていただき組佛教婦人会の会長も3回させていただきました。たくさんのお友達もでき、楽しく奉仕団に加わりました。今迄で特に御影堂大修復の際、重たい瓦を拭いたこと、親鸞さまの傘にならうと、ご寄付をして瓦の裏に名前を入れていただいたことが印象深い思い出です。参加した頃は、作業も今より長時間したように思われます。今回家族で参加された団体もあり、1歳から90歳までの奉仕団でした。和歌山からも90歳の男性がおみえでしたが、表彰の際、自分も90歳と申し上げるとビックリされ、後5回は大丈夫と励まされました。行ける限り参加させていただきます。」 くれぐれ

教区長島愛生園・邑久光明園研修会に参加して

訪れる迄は、内心『少し、怖いなあ』という思いもありました。昔、大人に当時らい病のことを教えられたことが残っていたと思いますし、北條民雄さんの「いのちの初夜」という本を読んだ中で『怖い』と感じたことがあります。今回訪問し、お話を聞く中で、衝撃を受けました。はっきりと「私の考えが間違っていた」と、すっきりとした思いを持つことが出来ました。

田端明さんの著書「波枕・闘病七十年石蕗の花」を戴き読ませていただきましたが、常に死と向き合いそれでも強く生きてきた田端さん的人生に感激しています。また、仏教の教えを根底に、様々な詩の味わいが心に響いてまいります。お一人でも、この本を読んでいただきたいと思います。

私も、田端明さんのお話は以前聞かせていただいた事がありました。三重県のご出身ということもあり、ハンセン病のことでも学んだつもりではいましたが、本当につもりで、浅いものでした。現地を訪れ、回復者の方からお話を伺い、あらためて東野さんから戴いた田端さんの本を読ませていただき深い感銘を受けました。（今回ご一緒に

参加くださいました井関俊雄さん、照代さんにお話を伺いました）



今年に入りアマチュアスポーツ界に於いて、選手の指導に依るパワーハラが矢継ぎ早に発覚し、その報道が毎日の様にTVにて観ない事は有りませんでした。何故に指導的立場に就いた人が、選手に對して、叩き、殴り、暴言を吐いて、指導と称するのでしようか。それを選手に対する愛情の表現と云う人も居るが、私には只の暴力にしか見えない。何故かと云うと、先日に行われた全米OPテニスでセリーナ・ウイリアムズ選手に勝利し優勝した大阪なおみ選手に付いたコーチが話題になり、指導方法が脚光を浴びた事は言うまでも有りません。さて、日本のスポーツ界は何時頃から、指導と称して暴力が行われる様に爲つたのか、一説には、日本に軍隊が出来た頃から暴力が指導と称して行われて、それがあたかも好として見過ぎされて来たのではないかと云います。只の人が権力を握つた、その地位に就いた途端に私利私欲絡みの权限を誇示するのは不思議です、今まで抑えて来た鬱積を晴らす爲でしようか。ところで、私も学生時にスポーツ部に籍を置いたが、或る日のこと、指導先生がミスした事に思わず、くすと笑つた私の顔を改りました。私は、その場を黙っていましたが、この様な事は日常茶飯事でした。誰も文句を言わずに、それが罷り通つた時代だつたのでしょうか・・・でも、パワーハラはダメです。自分の体験を元に考えた時にその選手が賞を得たとしても、決してパワーハラを超える喜びと誇りにはなりません。時代は変わつて来て居ますよ。指導者の立場にある方々は、今一度反省をして頂きたいと思います。

平成30年10月15日 北海道大島義勝さん

今年に入りアマチュアスポーツ界に於いて、選手の指導に依るパワーハラが矢継ぎ早に発覚し、その報道が毎日の様にTVにて観ない事は有りませんでした。何故に指導的立場に就いた人が、選手に對して、叩き、殴り、暴言を吐いて、指導と称するのでしようか。それを選手に対する愛情の表現と云う人も居るが、私には只の暴力にしか見えない。何故かと云うと、先日に行われた全米OPテニスでセリーナ・ウイリ

権力の横暴

不祥事続々が止まらない

今年に入りスポーツ分野での不祥事イジメ・セクハラ・パワーハラ等々のニュースを連日、TVにて観て知り何故か悲しい思いにさせられ続けた

- 愛とパワーハラの区別がつかない指導者
- 愛とパワースポーツ界に独善的ルール
- 女子レスリング練習場締め出し圧力
- 大学アメフト危険タックル指示疑惑
- ボクシング不正判定、不正使用疑惑
- 女子体操選手への悪質パワーハラ騒動

報恩講法要作品展示ご協力ご依頼

皆さんが日頃文化祭や趣味で創られた作品など12月8日～10日まで、当山報恩講法要期間展示させていただきたく、ご協力ををお願い申し上げます。



霜月の
秋晴れうれし
稻刈りの
みつの日定めし
伊勢の風習
帰えむ家ありて休む夜から
くわぢすむ夕と多けて柿赤し
大空の紺ひき寄せる秋桜
偉にありても独り弱雲
落日の晴焼の羽根の輝くぬ
ひとり店も捨てがなきもの水澄めり
丹波栗
松茸黒豆
うまし秋
飲むは甘露の
天の川の水



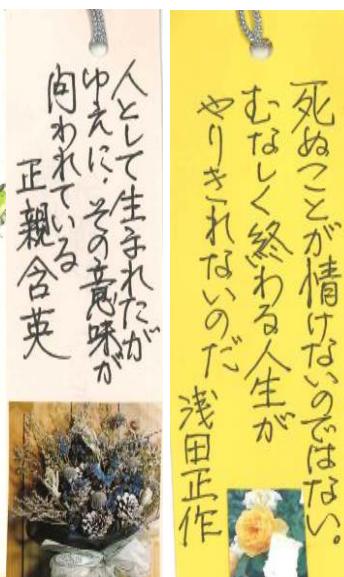
霜月の

霜月の句

朝晩寒さを感じるようになりました。初冬の頃、報恩講のつとまる時節です。さあ、聖人とともに心温まるみ教えを聞信してまいりましょう。くれぐれもお身体にはご用心ください。
南無 拝



朝倉市 森田瑛子さん



札幌市 大島光子さん



photo ID - 123456789